

ごみ焼却施設

広域化によるごみ焼却は非効率では

効率的な運用方法を協議していきたい

「新施設」早期建設に全力で取り組みたい!



井口亮一 議員

**質問** 小川地区衛生組合のごみ焼却施設をはじめ不燃物処理施設などは、操業から36年が経過し、老

朽化は著しく新施設の建設は急務だ。そうした中、なぜ町は8市町村によるごみの共同処理を目指す一部事務組

合を立ち上げようとするのか。

**答弁** 環境保全課長 小川地区衛生組合では、管内に新施設を建設する努力をしてきた経過があり、具体的な候補地も何度か検討してきましたが、破談となりました。その後候補地も見つからず、管内では新施設の建設は考えられないという結論に至ったと聞いています。

**質問** 8市町村による広域化は当

町から約20キロメートルも離れ、運搬費用の増大が心配される。建設費も規模による経済性が大きく期待できるものではなく、効率に問題はないか。

**答弁** 環境保全課長 ご指摘のような心配は予想されますが、町としても工夫をしながら効率的な方法を模索したいと考えます。新施設についても、スケールメリットを生かし、より効率的な建設・運用を協議していきたいと考えています。

**質問** 中心的役割を果たす覚悟は。施設建設の見通しは。

**答弁** 町長 吉見町長は7年以内と答えられましたが、それより早期に実現するよう、全力で取り組みたいです。



小川地区衛生組合焼却場

農地を活かして、若い人が集まるといいけどなあ

農業問題

耕作放棄地の活用法と地域活性化の方策は 関係団体と連携し耕作放棄地の解消を図っています



根岸成美 議員

**質問** 現在、農業をめぐって、高齢化問題や後継者不足等、人と農地の問題が指摘され、将来の展望が描けない地域が増加傾向にある。農地の現状に注目し、耕作放棄地の解消や有効活用等、具体的な調査研究、積極的な取り組み事例や方策についての状況は。

**答弁** 産業観光課長 農地の有効活用のため、毎年農業委員会と合同で現地調査の実施と不耕作地解消の呼びかけを行なっています。



活用が待たれる耕作放棄地

さらに、地域の未来設計図「人・農地プラン」を推進し、新規就農者の拡大、地域の担い手確保、農地集積等、営農者に対する支援を行なっています。

**質問** 新規就農者、地域の担い手に対して、空き地や空

き農家住宅の情報募集し、一元管理やリスト化に取り組み、登録制度を創設することは、高齢化の進む中、山間地域等の地域活性化策になるのでは。

**答弁** 産業観光課長 近隣自治体の取り組み状況、大規模な農業生産法人等による解消事例、また関係団体とも意見交換をしながら、引き続き情報の収集と研究を行ないたいと考えています。

「子どもが病気のときにどうしよう」の心配事が一つ解決!



柳田多恵子 議員

子育て支援

病児・病後児保育の実施を

7月から実施する準備をしています

**質問** 子育てを応援するために①日曜・休日保育 ②一時保育の増設 ③病児・病後児保育の実施を。

**答弁** 子育て支援課長 ①保護者の切実なニーズを正確にとらえながら、今後検討を進めます ②施設の増設や合同保育を実施し、場所の確保などを検討しています ③対象は6カ月児〜小学校6年生まで、預かり料金は1時間700円、2人目からは半額です。ファミリーサポート事業(会員制)

を広げ、最短で7月から実施する準備をしています。

**質問** 協議会のメンバー構成は。利用者あるいは地域住民の要望や意見が反映される場をつくることは。協議の進捗状況など、定期的に住民と議会に情報公開する必要があるのではないかと。

**答弁** 政策推進課長 現在参加の承諾をいただいているのは小川町(会長)・寄居町(副会長)・嵐山町(副会長)を含め13市町村です。構成市町村の担当課長からなる幹事会を置き、当町が事務局となっております。支援額の分担方法



安心してお仕事を

や財源措置、埼玉県への支援要請などについても協議を進めています。日赤関係者もオプザーバーで参加します。「施設・設備などの整備」「医療体制の充実」「病院の対応・サービス」の向上」などの意見・要望の集約、また取り扱い方法など幹事会において協議します。情報提供の方法等も含め、参加市町村と歩調を合わせながら随時報告していきます。